

令和4年度 野七里地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

総合相談の分野では3年目に入る新型コロナウイルスの蔓延など新しい生活様式の中での相談支援の在り方、見守りを含めたネットワーク作りの検討をしていく必要性が高まっている。また、複合的な個々のニーズに対応できるようにケアプラザの場を活かし、地域住民の居場所作りとして包括だけでなくケアプラザ全体で取り組む。またあらゆる方が気軽にケアプラザへ相談出来るように様々な機関と連携しながら事業等を展開していく。コロナ禍においても、サロン活動等は少しずつ再開されはじめ、改めて地域住民からも人のつながりの重要性を再確認したとの声が聞かれた。人と関わりにくい時期を経たからこそ、サロンや移動販売の場が単に買い物支援という側面だけではなくコミュニティとしても重要視されることとなった。第4期地福計画推進にあたり、区・区社協と連携をとりながら円滑に課題解決に向けて核となる分科会が機能出来るよう支援していく。また、計画で取り上げられた課題に関しては、ケアプラザの機能を活かした方法で5職種間で連携を取りながら解決にむけた支援を行っていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	第4期地福計画推進の核となる分科会の構成メンバーに関して、民生委員中心の体制から、地域のサロンや見守り活動をおこなっている、今まで地域の会議に参加した事のない方達に参加してもらう事によって、新たな視点からの意見が聞ける場にしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域や誰かの為に何か出来るという意識をもってもらい生きがいに繋げるきっかけを作る。ご自身に何が出来るか、具体的にどういうことがやりたいかを考え、実際に地域にデビューしてもらう一連の講座を企画する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉避難所としてのケアプラザの役割を地域に正確に周知してもらう。また、地福計画推進母体の中の災害分科会と連携し、平常時から要援護者の避難に関して地域全体で検討してもらう。災害発生時の取り組みとして福祉避難所の役割を地域に正確に周知すると共に、居宅事業者、近隣薬局や地域住民等と防災時の取り組みと連携について検討する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	認知症の人がその意思を尊重され、出来る限り住み慣れた地域で暮らしていけるように認知症に対する理解がより深い地域になるように講座や地域の認知症関連の取り組みに積極的に支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の身近な相談者として高齢者はもちろん、障害や生活的な困窮を抱える方など対象を問わず本人・家族、地域の方の相談を受け止め適切な支援につなげ、関係機関と連携する。また、高齢者の権利を擁護するため、積極的に虐待の早期発見や予防のために講座を行い、本人の意思決定支援のため成年後見制度の利用促進と周知の為に講座を実施する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和4年度野七里地域ケアプラザ事業計画書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	○事業所の選択は、ご本人、ご家族様に選択して頂くよう情報提供をホームページ等を用いてご案内します。 ○フォーマルサービスだけでなく、地域のインフォーマルサービスの情報提供も細かく行います。	○個人情報の入った物の郵送等の際は必ずダブルチェック、声かけを行い誤送付等が無いよう細心の注意を職員全員が払い個人情報保護に努めます。 ○虐待を疑われるケースについては行政、各機関と連携しながら対応を行います。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	○アセスメントを綿密に行い、ご利用者様の「出来る力(残存能力)」を最大限に引き出し、生活に活かせるようにその方を取り巻く環境や地域との関わりも把握しながら住み慣れた地域で継続した生活が送れるようお手伝いをします。	○なるべくADL機能を維持した状態で住み慣れた地域での生活が永く送れるよう、重度化の予防や介護者の介護負担の軽減(レスパイトケア)も視野に入れながら、支援を行っていきます。
利用料金・実費負担		
職員体制	管理者1名	管理者1名(常勤兼務)・介護支援専門員2名(常勤専従1名・非常勤専従1名)
契約者数	200名	90名

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3) 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)			■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他		
--	--	--	---	--	--	---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	2009	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	よこはまシニアボランティアポイントの啓発及び制度を使ったボランティア活動に結びつける。新たなボランティア発掘も目的の一つ。	1: 高齢者	5	区内7館の地域ケアプラザで年に1回持ち回りで実施。シニア世代の地域デビューのきっかけ作りまたは、自身のボランティア活動の励みとして活用してもらう。		
2	野七里パソコンクラブ迷入会	2019	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	パソコン初心者向けに講座を開催。パソコンを使った新たな趣味や特技をした生きがい作りをめざす。	5: 地域	1	パソコン横浜の協力で地域の方達が楽しみながらパソコンをつかえるように基礎から教えて貰う。自分達の作品が出来る喜びや達成感を感じてもらおう事で生きがい作りや居場所としての引きこもり防止をめざす。		
3	げんきっこひろば	2010	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	高齢者の多い地域で子育てに奮闘する親と子供の交流の場として、集団生活に入る前の子どもが社会性を身につける場として、また、ボランティアを通じた地域との交流を目的とする。	3: 養育者及び乳幼児	5	未就園児の親子対象の子育て支援サロン。季節の行事を取り入れて親子でゆつくりつづぎながら、情報交換の場や相談の場としてまた同世代の子どもと関わる場として利用してもらう。		
4	ほのぼのコンサート	2010	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	世代や環境の違う人達の交流を目的としたコンサート。世代を超えて楽しい時間を過ごす為の居場所づくり	5: 地域	1,2,3,4	近隣保育園・貸室利用団体・きんりんの介護施設・わべくらぶさかえのみなさんと近隣の方があつまって、コンサート(音楽)を通して交流を深める		
5	庄戸小福祉教育	2018	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の学校の子ども達への福祉啓発・地域と学校とのつながりを作る。	4: 子ども・青少年	5	庄戸小4年生に向けて、包括・地域のキャラバンメイトと共催で高齢者の多い地域柄を考え、認知症サポーター養成講座を行う。		
6	ちいさなアーティスト展	2021	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障がいのある子ども達への周知および理解を進める。障がいがあっても、決して守られるだけの存在ではなく、一緒に多くの事が出来る事を認識してもらい、地域の中で活躍の場が広がる仕組み作りを行う。	2: 障害児・者	5	栄区内の個別学級及び特別支援学校の児童・生徒たちの作品展を開催する。多くの方達に向けて発表の場を設定するため、栄区内7館地域ケアプラザ地域交流CO.共催事業として行う。		
7	あなたの地域デビュー応援します～ボランティア養成講座～	2022	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	地域やケアプラザの自主事業で新たにボランティアとして活動してくれる人の発掘を目的とする。	5: 地域	7	長引くコロナ禍で活動できにくい状況が続く中、今一度ボランティア活動について考えてもらうきっかけ作りと新たな人材の発掘の為の講座をおこなう。		
8	趣味の講座	2020	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	趣味を通して仲間作りや生きがいづくりをめざす。また、趣味を地域の福祉保健活動に活かせるよう機会を作っていく事が目的。	5: 地域	1	若い世代から高齢者までが興味をもって取り組めるような内容の講座を地域の講師に依頼して開催。高齢者の多い地域のなかで、さまざまな世代が一緒に何かに取組、時間と場所を共有する機会を設定する。		
9	のしちり散歩	2020	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	健康作りの一環として、栄区周辺の風光明媚な場所や史跡を歩く。一人で黙々と歩くのではなく、「散歩仲間」と一緒に交流を深めながら歩く。第4期地福計画の「地域とのつながりを通じた健康作り」をめざす。	5: 地域	1	企画段階から一部の参加者に関わってもらいながら、毎回テーマを決めて参加者が和気あいあいとした楽しい雰囲気の中でウォーキングが出来るように支援する。		
10	山野草とお花を楽しむ会	2021	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域の自然にふれながら、おしゃべりを楽しみつつ歩く事で、健康づくりと仲間作りをめざす。	5: 地域	1	のしちり散歩参加者の中で山野草に詳しい方に説明してもらいながら、地域の里山を歩く。共通の趣味である花を通してお喋りを楽しみながら楽しく歩く。		
11	公園deお気軽健康体操～公園にある健康器具を使って～	2022	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	公園に設置している健康器具を使って健康作りをおこなう。コロナ禍で出かける事が少なくなった方達の健康維持も目的のひとつ。	5: 地域	1	栄スポーツセンターの講師に健康器具の正しい使い方を習う。公園にある健康器具を使った気軽な健康作りと一人ではなく、集団で楽しみながら活動する事でコロナ禍での引きこもりも防止する。		
12	野七里いなせ屋	2022	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の一人暮らしおよび高齢者世帯に向けて食事会を開催する。見守りと大勢で楽しく食事をとってもらおう事で食の大切さをわかってもらう。調理をするボランティアの育成も目的の一つ。	1: 高齢者	5	男性料理講座で集まった男性7名と講師に腕ふるってもらい、食事を提供する。旬の食材を使い、季節を感じてもらおうと同時に食の大切さや楽しさをおかんでもらう。		
13	春だ！クイズラリーで健康ウォーク(のしちり散歩～第8歩)	2022	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	大人から子供までたのしみながら、ウォーキングをする。異世代交流の場として、また、クイズを解きながら地域を巡る事で、わが町の良さを感じてもらおう。	5: 地域	1,2,3,4	上郷地区センターをスタートし、地域を回りながら所定の場所でクイズを解く。当日は栄区オープンガーデンも開催しているため、そちらも楽しみながら時間内にゴールの上郷地区センターに戻ってくる。		
14	小学生のボランティア体験(げんきっこでふれあい体験)	2022	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	次世代育成の観点から、上の子が下の子の面倒を見る事で優しさや労わり、心の豊かさを育む。また、職業体験として、将来なりたい職業について考えてもらうきっかけ作りも兼ねる。	4: 子ども・青少年	1,3	例年開催している保育士体験がコロナ禍で開催出来ないのを受け、ケアプラザの子育て支援事業「げんきっこひろば」で小さい子ども達と一緒に遊んだりお話をしたりして触れ合う。		
15	夏の夕べに親子でバドミントン	2015	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	親子で一緒に何かする時間と場を共有する。コロナ禍で家族関係が微妙になる中、不足しがちなコミュニケーションをとる機会を提供する。また、ケアプラザに馴染のない世代へのケアプラザの周知啓発を目的とする。	4: 子ども・青少年	5	地域のバドミントン講師に指導を依頼し、3日間にわたってバドミントンの講習を受ける。最終日には親子でチームを組んで対抗戦を行う。		
16	レッツ ウクレレ♪	2021	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	なかなか終息しない新型コロナウイルス感染症でおうち時間が増える中、新たな趣味をみつけるきっかけ作りと地域デビューのツールの一つとして活用してもらう。	5: 地域	1	毎月第2・4土曜日に開催。1年間かけて全くの初心者向けに基礎からおしえてもらう。4月からは、少し経験のある方が加わる。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	小学生の体験教室	2022	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子ども達に様々な体験を通して興味をもってもらい、日頃学校や家庭で体験できないワクワクするような講座を開催し、色々な物に興味を持ってもらうような機会を提供する。	4:子ども・青少年	5	科学・天文・歴史・木工などあらゆる分野の講師から子どもアトピーが興味をもって楽しく学べる講座を開催。		
18	地域で知ろう。考えよう！ ～お互いさまで持ちつ持たれつ～	2022	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいのある人達が安心して地域で暮らしていけるように、また、地域に出て活動出来るような仕組み作りを考えてもらう。第4期地福計画「障がい児・者とその家族が安心して暮らせるまちづくり」に沿った事業	2:障害児・者	5	上郷東地域の第4期地福計画にも盛り込まれている障がい児者への理解を深める為の講座を行う。関係機関と連携して当事者とその家族の思いを知ってもらう。		
19	貸室利用説明会	2021	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸室利用団体に向けて貸室利用に関する事だけでなく、地域の課題解決になるような研修会も同時に開催する。	5:地域	7	貸室利用についてのお願いと注意事項と同時に役に立つミニ講座を開催。		
20	野七里秋の展示会	2021	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍でも感染防止に気を配りながら活動を続ける団体のモチベーションが下がらないように感染対策が可能な展示という方法で活動発表の場を提供する。	7:その他	5	ケアプラザ内の廊下や情報ラウンジを利用して作品を展示し、来館者に見てもらおう。		
21	介護者の集い	2012	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	主に認知症の方を介護しているご家族を対象にグループワークや話し合いを行う。介護者の精神的な負担の軽減を目的とした介護者同士の情報交換や話し合いの場を設ける	5:地域	5	認知症の人と家族の会に講師を依頼し、家族同士で意見交換を行い、それぞれの悩みについて助言しあえる場を提供する。		
22	行政書士による出張相談	2014	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の法律の専門家が成年後見制度や遺言の書き方、相談手続等の相談に応じる権利擁護目的の個別相談	5:地域	1	地域の行政書士の協力のもと、毎月1回定期的に開催する。1回の相談につき30分程度を目処とし、地域包括支援センター職員と共に無料で相談に応じ、必要に応じてその後も継続的に支援していく。		
23	権利擁護相談会	2016	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	毎年継続して行われている栄区内で権利擁護が必要な方への個別支援として栄区社会福祉士分科会で企画。	5:地域	1	栄区包括支援センター社会福祉士分科会の共催事業。相続や遺言、成年後見等について、行政書士や司法書士に気軽に相談できる個別相談会。		
24	高齢者虐待出前講座	2016	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	虐待の早期発見の為に、在宅介護サービスを行う事業者等に対して研修会を行う。	6:事業者		栄区包括社会福祉士の6館共催事業として、区職員と共に、区内の民生委員に対し、虐待発見のポイントや通報の仕方についての研修会を開催する。		
25	成年後見制度出前講座	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	本人の意思決定支援のため、成年後見制度の利用促進を図るため居宅のケアマネジャー向けに成年後見制度出前講座を栄区社会福祉士分科会共催で行う	6:事業者		今年度より行う取り組みで成年後見制度の内容、利用までの主な流れを居宅介護支援事業所に直接出向き行う		
26	落語で笑って学ぶ！終活講座	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	行政書士で落語家の講師によるシニアライフノートの書き方講座。終活について創作落語も交え楽しく終活を学ぶ	5:地域	1	区役所と戸部コミュニティハウスと共催して7月に行う予定		
27	終活座談会	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	社団法人終活協議会の方を招いて少人数形式で数回終活座談会としてグループワークも兼ねて行う	5:地域	1	終活に際して必要なことを複数回にわけて地域の住民向けに講義と質疑応答の時間を設け地域住民に考えてもらう		
28	司法書士による成年後見講座	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	神奈川県司法書士会の司法書士を招いて成年後見制度を地域住民の方にわかりやすく行って頂く	5:地域	1	成年後見制度そのものを専門職の視点からわかりやすく地域の住民の方向けに話し制度理解と促進を図る		
29	イージー体操	2012	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要介護状態にならないために、運動機能の維持・増進を図る。毎週通うことで参加者との交流も深まり閉じこもりの予防にもつながる。	1:高齢者	1	腰痛・膝痛があってもできる体操。椅子に座って行える体操を運動講師の指導のもと行う。体操以外にイベントを行い参加者の交流を深め、楽しみながら体操を継続できる様にする。		
30	のしちり健康作り体操	2015	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の中広い層を対象にした介護予防教室。筋トレでは体力的に続けられない人を対象者として、介護保険に繋がらない様に、介護保険サービスを利用していても今以上にQOLを低下させず改善を目標に実施している。	5:地域	15	転倒予防、認知症予防、口腔リハを組み合わせて行う。会場を3箇所にして全身の機能改善が出来る負担のそれ程無い体操と、笑いながら自然に認知症予防が期待出来るコグニサイズを主に行う。		
31	公園DEお気軽健康体操	2022	4:共催（1と2）	2:発展させるねらい	身近な公園遊具を使い健康作りを体験してもらう。参加者同士の仲間作り、地域参加のきっかけにもしたい。	5:地域	15	専門のインストラクターに公園健康遊具の正しい使い方、効果的な動きを教えられる。グループで行う事で楽しみながら継続できる様にする。		
32	ボディケアストレッチ	2021	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	広い層の人達を対象に、持続する事で体調を良好に保つ方法を実技で学んでもらい、予防への意識を高めてもらう。	5:地域	5	身体のねじれや変形を改善、または良好な状態に持っていく方法を実技で学ぶ。定期開催として、地域の多くの人達に発信していく。年度途中で自主化予定。		
33	医療講座	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の人たちが健康でより良い生活を送る事が出来る様に、ツールの一つとして知っておいて欲しい情報を提供し役立ててもらう。	5:地域	5	地域向けに聞きたい事を聞ける医療講座にする。 日頃気になる事や、なかなか聞けない事を質問できる様に工夫をする。地域で開業している医師と補聴器についての講座を予定している。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
34	災害時の食事を考える	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	災害を身近に感じる様になり、いざという時の備えはそれぞれで行う場合が多いが、食事については知恵を出し合う事がより重要になると思われる。初めての体験時にどう対応するかのシミュレーションを実施。認知症を予防する方法をあらゆる情報から学び、実践する事を目標にする。	5:地域		ライフラインが滞った時の食事を参加者で考えながらその場で実践してみる。女子栄養大学の講師による栄養や保存性についての話も随時交える。		
35	認知症にならないための探究会	2020	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症を予防する方法をあらゆる情報から学び、実践する事を目標にする。	5:地域		認知症に対する最新情報や研究過程などを聞く事で、前向きに対峙する事が出来る様になる。認知症のSCIの段階で自覚が出来る様なチェックリストをつくる。		
36	のしちりお日さまカフェ キャラバンメイト共催事業	2022	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの共済事業内で、認知症に特化した催しをキャラバンメイトと企画する。認知症本人・介護者が安らげる場所を目指し、キャラバンメイトは活動の場を広げる機会とする。	5:地域		介護者の集いの回数を増やして欲しいとの意見は多く寄せられていた。集まる機会を作り、話をする事で気持ちの後押しが出来る様な内容とする。		
37	ご飯を炊いて味噌汁を作ってみよう	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	男性は調理をする機会がないまま、必要に迫られても出来ないと言ってしまう事が多い。まずはやってみて、食生活を見直し、自分で作る楽しさに繋げる機会とする。	5:地域		調理未経験の男性を対象に実施する調理講座。 冷蔵庫にありそうな材料を使い、味噌汁と副菜を作る。炊飯は鍋を使って行う。講師は町の先生。		
38	野七里エリア協力薬局との情報交換会	2021	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域高齢者が普段利用する近隣の薬局と情報交換の場を持ち、薬についての説明や関わり方について情報交換、共有を行い顔の見える関係を築き連携をスムーズに図れるようにする。	6:事業者		年3回(6.10.2月)、地域の薬局の方とケアプラザとの連絡会を実施、エリア内のケアマネや民生委員等にも参加を促し、多職種連携の場とする。3回中の1回は薬剤師からみた防災(仮)とした勉強会を計画。		
39	認知症予防野七里スリーA「なずなの会」	2013	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の認知症の方でも集える場所づくり。地域におけるスリーAの活動場所づくり。	5:地域		地域交流との共催事業。 新規の参加者の募集や活動プログラムの提案等、継続した活動支援を行い、会の活性化を図る。		
40	認知症サポーター養成講座	2015	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域のキャラバンメイトと協力し、地域向けに認知症サポーター養成講座を開催する。	5:地域		依頼のあった各種団体に合った内容で認知症サポーター養成講座を開催していく。戸戸小学校4学年へは今年度も実施で調整中。		
41	野七里キャラバンメイト連絡会	2020	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のキャラバンメイトと顔の見える関係づくりを目的とし、認知症サポーター養成講座の検討やその他のメイト活動についてを企画、検討していく	7:その他		地域のキャラバンメイトと定期的に連絡会を開催し、サポーター養成講座の開催の企画の他、認知症普及啓発活動についてを検討していく。		
42	野七里地域ケアプラザみんなで勉強会	2010	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリアの高齢者を担当しているケアマネジャーに集ってもらい、介護保険のみではなく様々な分野での知識を深めてもらう	6:事業者		栄区の他ケアプラザと共催し年3回程度の事例検討会を実施。又、薬剤師との連絡会と連動し、「薬剤師からみた災害」を予定。		
43	民生委員さんとケアプラザの情報交換会	2010	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	野七里エリアの民生委員との情報交換会を連携を密に行っていく為に引き続き行っていく。	5:地域		地域ごとの民生さんに集ってもらい、地域情報や活動を通じて困っている事や近況などをお話いただき、助言や連携出来る事などを一緒に考えていく。		
44	野七里地域ケアプラザ民生委員さんと勉強会	2010	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	野七里エリアの民生委員さんを対象に、学びの機会を作り情報交換の場とする。	5:地域		昨年度、民生委員の方々の情報交換会の中から、テーマを選定し勉強会もしくは事例検討会を実施する		
45	民生委員さんの多職種との勉強会	2010	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	民生委員とケアマネジャーの双方がお互いの役割を理解し、地域の高齢者が安心して在宅で生活を送れるよう連携について考える。	5:地域		令和4年3月現在、民生委員との連絡会にて聞き取り実施中。テーマは未定。		
46	新人ケアマネジャー勉強会	2010	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	就労3年未満のケアマネジャーを対象に、新人ケアマネジャー研修を実施し、業務を行う中で必要な知識や横の繋がりが出来るよう支援をする。また、様々なケアマネジャー向けの研修がある中で、区との連携をテーマにした勉強会や、事例検討会年共催している栄区医師会医療連携室との勉強会を今年度も栄区主任ケアマネ分科会合同で共催事業として実施する	6:事業者		昨年度、栄区6包括共催で実施した研修を継続講座として今年度実施		
47	多職種医療勉強会	2010	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	栄区医療相談室との共催事業。2か年で7ケアプラザ毎に人生会議(アドバンスドケアプラン)について学び、自身が大切に行っていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたり、理解する機会や話し合う機会をもち、栄区生活支援センター相談員の出席講座を行うことで、精神疾患をお持ちのご本人やその家族、ご友人等気軽に相談ができる場を作る。又、生活支援センターを周知することで相談機関としての機能を地域に理解してもらう機会とケアプラザの役割について地域住民にご理解していただき、野七里地域ケアプラザの周知を行う。	6:事業者		昨年度延期として研修を再度調整。6月・9月・12月に地域住民と介護事業所等とを交え「VR体験」を開催。		
48	ACP講座	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	栄区医療相談室との共催事業。2か年で7ケアプラザ毎に人生会議(アドバンスドケアプラン)について学び、自身が大切に行っていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたり、理解する機会や話し合う機会をもち、栄区生活支援センター相談員の出席講座を行うことで、精神疾患をお持ちのご本人やその家族、ご友人等気軽に相談ができる場を作る。又、生活支援センターを周知することで相談機関としての機能を地域に理解してもらう機会とケアプラザの役割について地域住民にご理解していただき、野七里地域ケアプラザの周知を行う。	5:地域		上郷西地区・東地区民生委員及び近隣事業所を対象に10月に実施予定		
49	こころの相談会	2022	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	栄区生活支援センター相談員の出席講座を行うことで、精神疾患をお持ちのご本人やその家族、ご友人等気軽に相談ができる場を作る。又、生活支援センターを周知することで相談機関としての機能を地域に理解してもらう機会とケアプラザの役割について地域住民にご理解していただき、野七里地域ケアプラザの周知を行う。	5:地域		偶数月の第三金曜 13:00~15:00に予約制で実施。毎回、相談後に生活支援センターとのカンファレンスを実施し、相談者の共有や支援に繋げられるようにしていく。		
50	上郷地区センター祭り	2012	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	栄区生活支援センター相談員の出席講座を行うことで、精神疾患をお持ちのご本人やその家族、ご友人等気軽に相談ができる場を作る。又、生活支援センターを周知することで相談機関としての機能を地域に理解してもらう機会とケアプラザの役割について地域住民にご理解していただき、野七里地域ケアプラザの周知を行う。	5:地域		ケアプラザの役割紹介や、事業のご案内、介護相談、毎回好評である健康チェックを行い健康意識を高める		

令和4年度「野七里地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,834,552		19,834,552		19,834,552	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	200,000		200,000		200,000	
雑入	270,000	0	270,000	0	270,000	
印刷代	70,000		70,000		70,000	
自動販売機手数料	200,000		200,000		200,000	
その他			0		0	
その他	4,400,169		4,400,169		4,400,169	
収入合計	24,704,721	0	24,704,721	0	24,704,721	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,553,633	0	12,553,633	0	12,553,633	
本俸	9,312,633		9,312,633		9,312,633	
社会保険料	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
手当計	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
健康診断費	26,000		26,000		26,000	
勤労者福祉共済掛金	15,000		15,000		15,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	1,300,000	0	1,300,000	0	1,300,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	301,100		301,100		301,100	
会議随費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	300,000		300,000		300,000	
使用料及び賃借料	8,400	0	8,400	0	8,400	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	8,400		8,400		8,400	
その他			0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	160,000		160,000		160,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	2,000		2,000		2,000	
リース料	175,000		175,000		175,000	
手数料	13,000		13,000		13,000	
地域協力費	5,500		5,500		5,500	
その他			0		0	
事業費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	958,000		958,000		958,000	
その他			0		0	
管理費	3,100,000	0	3,100,000	0	3,100,000	
光熱水費	1,402,917		1,402,917		1,402,917	
清掃費	600,000		600,000		600,000	
機械警備費	182,490		182,490		182,490	
設備保全費	614,593	0	614,593	0	614,593	
空調衛生設備保守	122,179		122,179		122,179	
消防設備保守	61,090		61,090		61,090	
電気設備保守	49,296		49,296		49,296	
害虫駆除清掃保守	37,886		37,886		37,886	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	344,142		344,142		344,142	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,004,291	0	1,004,291	0	1,004,291	
事業所税			0		0	
消費税	1,004,291		1,004,291		1,004,291	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,431,924	0	19,431,924	0	19,431,924	
差引	5,272,797	0	5,272,797	0	5,272,797	

自主事業費 収入	200,000	0	200,000	0	200,000	
自主事業費 支出	958,000	0	958,000	0	958,000	
自主事業 収支	△ 758,000	0	△ 758,000	0	△ 758,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	200,000	0	200,000	0	200,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	8,400	0	8,400	0	8,400	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	191,600	0	191,600	0	191,600	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「野七里地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	22,572,866		22,572,866		22,572,866	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,792,812		5,792,812		5,792,812	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	300,000		300,000		300,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	100,000		100,000		100,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	10,000		2,035,000		2,035,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	30,964,678	0	30,964,678	0	30,964,678	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,033,085	0	24,033,085	0	24,033,085	
本俸	17,877,812		17,877,812		17,877,812	
社会保険料	2,600,000		2,600,000		2,600,000	
手当計	3,484,273		3,484,273		3,484,273	
健康診断費	50,000		50,000		50,000	
勤労者福祉共済掛金	21,000		21,000		21,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	1,200,000	0	1,200,000	0	1,200,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	235,000		235,000		235,000	
会議滞在費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	140,000		140,000		140,000	
通信費	230,000		230,000		230,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	20,000		20,000		20,000	
施設賠償責任保険	100,000		100,000		100,000	
職員等研修費	18,000		18,000		18,000	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	26,000		26,000		26,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費			0		0	
その他	200,000		200,000		200,000	
事業費	1,999,000	0	1,999,000	0	1,999,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	900,000		900,000		900,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
その他			0		0	
管理費	1,100,000	0	1,100,000	0	1,100,000	
光熱水費	548,124		548,124		548,124	
清掃費	340,000		340,000		340,000	
機械警備費	48,510		48,510		48,510	
設備保全費	163,366	0	163,366	0	163,366	
空調衛生設備保守	32,477		32,477		32,477	
消防設備保守	16,238		16,238		16,238	
電気設備保守	13,104		13,104		13,104	
害虫駆除清掃保守	10,070		10,070		10,070	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	91,477		91,477		91,477	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	28,458,085	0	28,458,085	0	28,458,085	
差引	2,506,593	0	2,506,593	0	2,506,593	

自主事業費 収入	410,000	0	410,000	0	410,000	
自主事業費 支出	1,369,000	0	1,369,000	0	1,369,000	
自主事業 収支	△ 959,000	0	△ 959,000	0	△ 959,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:野七里地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				2,000,000		2,000,000	14,000,000		14,000,000			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000	14,000,000	0	14,000,000	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	12,500,000		12,500,000			0			0
	事務費			0	150,000		150,000	400,000		400,000			0			0
	事業費			0	100,000		100,000	400,000		400,000			0			0
	管理費			0	200,000		200,000	400,000		400,000			0			0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)	0	0	0	450,000	0	450,000	13,700,000	0	13,700,000	0	0	0	0	0	0	
収支 (A) - (B)	0	0	0	1,550,000	0	1,550,000	300,000	0	300,000	0	0	0	0	0	0	